

中国から

## 反日感情

今回は色々と用事があったので中国に行ってきました。  
主には弊社オリジナルのインド材委託原石（黒、青等）の現状確認です。

到着してすぐに季節の変わり目からか、はたまた普段の生活の乱れからか、  
こんなときにならなくても・・・という十二指腸潰瘍になってしまいました。

そこでアモイの病院に駆け込んだわけですが・・・その対応がひどい。  
まず何よりも先に金、金、金！ 挙句の果てに、病人をたらいまわし・・・  
もしアモイで病気かかったら、  
絶対に一人では行かないことをお勧めします。

アモイでの緊急外来の流れは下記の通りです。  
（都市ごとにシステムが違います）



- ① 受付で担保のお金を払いお金がチャージされたICカードを受け取り、診察を待つ。
- ② 診察・・・その後ICカードに必要事項を医師が打ち込む
- ③ ICカードを持って再度受付に行き、薬の代金を支払う
- ④ 支払ったレシートを持って自ら薬剤室へ
- ⑤ 受け取った薬剤を自分で持って処置室へ行き処置してもらう
- ⑥ その後血液検査へ（かなり下手で広範囲に内出血・・・）
- ⑦ 血液検査の結果を1時間待ち、結果を受け取る
- ⑧ その紙をもって再度診察
- ⑨ 点滴の診断だったので③④⑤の工程を再度
- ⑩ 終了後再度診察
- ⑪ 薬の処方③④の工程

ここまでざっと3-4時間・・・。恐ろしい。



こんなこともあり、点滴中に中国の一般の方と結構な時間、話を持つ機会ができました。  
時期も時期だったので日中問題について聞いてみました。(もちろん中国人のフリをしてですが)

個人的な感想ですが、やはり中国南部は対象となる地域に近いせいか、反日感情らしきものが若干感じられました。ある一部の人ですが「I氏がもし参閣するようなことになれば戦争だ」とも言っていたので・・・。

中国東北部(大連)では、古くから日本企業が多いこともあるのか若干冷ややかな目線でした。  
「こういう政治上の問題で、一番被害を受けるのは俺たち民間人だ」・・・とタクシーの運転手さんが嘆いていたりしていました。

北と南で若干の差はありましたが概ね、民間レベルでは迷惑な話だ、景気が悪くなるといったような感想を持つ人が多く、反日感情はあまりないような気がします。  
翻って日本の報道等でみると中国に親近感を持つ等の意識アンケートで、中国に好感情を持つ人の割合が過去最低の数字とか。

石材業界でもインドなど他の生産国の選択肢もありますが、まだまだどうしても中国は切っても切れない存在です。

ということもあり、民間レベルでは人類皆兄弟ということをお客様にお伝えしたかったのでこの場をお借りして語らせていただきました。  
堅苦しい話で申し訳ありませんでした。

12月はかなりインドにいる予定なので来月はまたインドネタを少し。

2012年11月 SATO